

2017年度 須磨学園中学校 入学試験問題 第2回

社会 出題意図

全体について

例年と同じく、「地理」・「歴史」・「公民」分野から出題しています。①・②が歴史分野、③・④は地理分野、⑤が公民分野となっています。小問題数は、歴史分野が15問、地理分野が13問、公民分野が8問、合計36問からなります。

歴史分野では、各時代の必要とされる知識や歴史の流れを理解しているかを問う問題を出題しました。地理分野は、幅広い事象に興味・関心を持って捉え、得た知識を整理し、それをもとに考えることが出来るかを問う問題を出題しました。公民分野は法律や時事問題の細かな知識を問う問題を出題しました。また、問題の難易度も検定教科書にある基本内容から思考力を要する難度の高い問題まで幅広くあります。地理・公民分野の、各種統計や地図を用いた問題で、確かな知識をもとにした思考力が試されます。

各問題について

① 神戸市立博物館をテーマに、各時代の特色を問う歴史問題。知識が体系化できているかが試されました。問1は幕末の開港に関して、問2は室町幕府と勘合貿易に関して、基本知識の定着を確認するための問題です。問3は武士をテーマとした時代の並べ替え、問4(2)は外交史をテーマとした問題で、いずれも難度は標準的なものです。問6は安土桃山時代の絵図の問題で、ザビエル像、織田信長像、南蛮図屏風、平賀源内が描いた西洋婦人図は、いずれも神戸市立博物館に収蔵されています。やや馴染みの薄い史料かもしれませんが、何が描かれているかを推察し、知識と結びつけられれば、正解が得られます。

② 世界遺産をテーマにした歴史問題。写真や図を題材に、歴史の基礎知識の定着度合いを確認するための問題が中心です。問4の絵図の問題は、資料を注意深く見て、何を表しているのか考える力が求められ、絵図中の細かなポイントを見抜く必要があり、やや難易度が高くなりました。問5は国立西洋美術館を答える問題で、時事に対する興味の有無を問うています。

- 3 運輸や交通をテーマに、地理の幅広い知識と深い理解を問う出題。問1は地誌の総合的説明から地域を特定する問題。問2は、各新幹線の通過する都府県と、それらの都府県の農業の特徴を問う問題で、知識を活用する思考力が求められました。問3は、工業都市と工業の組み合わせが間違っているのではなく、セメントが輸入資源ではないということに気付けるか、という問題で、先入観に捉われると誤答してしまいます。問4・5でも、一步踏み込んで知識を理解し定着させていることが求められました。
- 4 水資源をテーマとした地理問題。問1・2は、各地方の特徴を水の使用目的で捉える問題で、統計表を読み解き、他の地方のデータから類推しつつ正解を導く、やや難易度の高いものでした。香川用水を答える問3と、琵琶湖に関する問4は、いずれも標準的な知識の問題です。瀬田川や、姉川は、歴史分野の知識でもあります。問5は、ヒートアイランド現象を理解しているかを問う問題で、それ以外にも、人工物による地面の被覆に関する事柄を考えてほしい、という意図のもと出題しました。問6は等高線の読み取り問題で、見た目に惑わされなければ平易です。問7は、バーチャルウォーターという概念を知っていれば平易であり、統計表から、農畜産物を育てるのに水が必要であることを類推することは、そう難しくないでしょう。物事を論理的に説明する記述力を求めています。
- 5 女性の社会進出と、選挙や国民投票をテーマにした公民分野の問題。問1では、スコットランドの残留とイギリスのEU離脱、問3では小池都知事のフルネーム、問7では育児・介護休業法の改正と、いずれも時事内容を正確に答える問題です。ニュースや新聞で多く取りあげられた内容で、時事に対する興味の有無を問うています。問2は国連加盟国数と安保理常任理事国の知識をもとに地域を特定する思考問題、問4・問5・問6は政治分野の基本知識を問う問題になっています。